

# 韓国の高校生と 環境学習で交流

## 濟々鬻高生

環境学習のため来熊

中の韓国・忠清南道

チュンナムド

の高校生と、濟々鬻高の生徒による活動発表会が8日、熊本市北区の水の科学館であり、環境問題をテーマに意

見を交換した。

韓国の高校生は5月に忠清南道で開かれた「環境討論会」の上位入賞者で、7校18人が6～9日まで水俣市の水俣病資料館や八代市の荒瀬ダム撤去現場などを見学した。

活動発表会は熊本市のNPO法人環境ネッ

トワークくまもとが主催し、チュンナム忠南外国語高と濟々鬻高が各2テーマを英語で発表した。

忠南外国語高2年のジャンユンジョン張尹禎さんは、討論

会で発表した意見を披露。韓国の国民は再生可能エネルギーへの関心が薄いと指摘し、政府が再生可能エネルギー

を推進する施策が必要と訴えた。

濟々鬻高2年の猿渡涼香さんすずか（同市中央区）と矢野瑠智さんるちえ（同市東区）は、高度経済成長や水俣病に触れながら「開発と環境保全のバランスを考える必要がある」などと話した。（鹿本成人）